

第 1 回東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会 議 事 概 要

事項	第 1 回 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会	出席者	(随行者・事務局除く) 33名 (内WEBによる参加8名)
日時	令和 6 年 3 月 15 日(金) 14:00～16:00	場所	滝野図書館3階会議場
内容	<p>1 開会 (1) 開会挨拶 (2) 委員及び出席者紹介</p> <p>2 報告 (1) 兵庫県における総合治水の取組み (2) 国の流域治水の取組み</p> <p>3 議事 (1) 東播磨・北播磨・丹波地域における取組み実績と課題 (2) 計画改定の方向性、スケジュール</p> <p>4 神戸地方気象台からの情報提供</p> <p>5 閉会</p>		
資料	<p>議事次第、出席者名簿、配席図</p> <p>資料 1 兵庫県における総合治水の取組み</p> <p>資料 2 国の流域治水の取組み</p> <p>資料 3-1 東播磨・北播磨・丹波 (加古川流域圏) 地域の主な取組み</p> <p>資料 3-2 東播磨・北播磨・丹波 (加古川流域圏) 地域の取組み実績</p> <p>資料 4 東播磨・北播磨・丹波 (加古川流域圏) 地域総合治水推進計画の改定について</p> <p>資料 5 防災気象情報の改善に係る取組みについて</p> <p>参考資料 1 地域総合治水推進協議会 設置要綱及び公開要領</p> <p>参考資料 2 地域総合治水推進計画</p> <p>参考資料 3 フォローアップシート</p> <p>参考資料 4 総合治水条例の概要 (パンフレット)</p> <p>参考資料 5 みんなでとりくもう! 「総合治水」 (パンフレット)</p>		

1 開会

(1) 開会挨拶（守本北播磨県民局長）

(2) 委員及び出席者紹介（事務局）

2 報告

(1) 兵庫県における総合治水の取組み

⇒「資料1」の説明を行った。（事務局）

(2) 国の流域治水の取組み

⇒「資料2」の説明を行った。（事務局）

3 議事

(1) 東播磨・北播磨・丹波地域における取組み実績と課題

⇒「資料3-1、3-2」の説明を行った。（事務局）

(2) 計画改定の方向性、スケジュール

⇒「資料4」の説明を行った。（事務局）

4 神戸地方気象台からの情報提供

⇒「資料5」の説明を行った。（神戸地方気象台）

5 その他、連絡事項

6 閉会

【主な意見】

2 (1) 兵庫県における総合治水の取組み

2 (2) 国の流域治水の取組みについて

1 河川改修工事として三面張りを実施していただいているが、最近の大雨や老朽化の影響もあり、河床のブロック張りがはがれる現象が確認されている。その結果護岸の裏から土砂の流出が見られ、農地の土が下がっていき地震が起きたかのような陥没が見られるケースがある。これから大きな雨が降るにつれて、河川改修のやり方を資料-1 (P. 23) のように川の底に張ってある上の護岸に新しいコンクリートを設置し剥がれないようにしないとイケないのではないかと。また、土砂が流れてくる影響で草木が生えてしまうことがあり、木が成長するとゴミが溜まったり、水の流れが悪くなってしまふ。予算の関係もあって、河川の改修をなかなかできないかもしれないが定期的に河川の草木・土砂を取り除く必要があると思う。(三木市県民委員)

⇒河川の流れを良くする取組みとして、新たに護岸を作ることや川幅を拡張する等の対策を進めているが、構造物のためいずれ老朽化していくものである。今後の維持管理について、堆積土砂を逐一撤去することは厳しいが、河積阻害によって浸水被害が生じる可能性があるため、定期的な点検を行い、必要な維持管理を行うことを計画に反映していきたいと考えている。(事務局)

2 青葉台を流れる山田川では、一定の水量が流下してくると自動的に倒れる取水堰がある。裏六甲の天気の特徴があり、基本的には西から東に向かって天気は崩れるが、裏六甲は東から西に天気が崩れる場合がある。吞吐ダムの周辺地域は雨が少ない地域であるが、取水堰が倒れたり、田んぼの水を川に流すと急に水位が上がる。数年前8月に行われた山田八幡神宮祭りの一環で、神輿で川の中に入って清めるということをした。その際に、上流で雨が降っていたため取水堰が倒れて、水かさが増して流されそうになったことがあった。取水堰が倒れる場合は、音が流れるなどの対策を行った方が良くはないか。吞吐ダムより下流の三木市では放水する際や水量が増えた時にサイレンが鳴ったりと対策がなされているが、取水堰では対策されていない。裏六甲の特徴的な天候や、そういった実態を把握してほしい。(神戸市県民委員)

⇒治水ダムや放流を伴うダムではサイレンやパトロールを行う等の対策がされているが、農業用の井堰で、すぐに対策をすることは難しいため、「そなえる」対策として地域の住民の中で情報の共有を行い、気を付けるなどをしていただくことが実際のところだ。(事務局)

⇒情報の共有はしているが、上流側の天気が分からず急に取水堰が倒れて水が流れて危険であるため、状況を把握して頂きたい。(神戸市県民委員)

⇒何らかの形で「そなえる」対策を強化し、ダムで出来ている警報・サイレン等を設置する仕組みができるようなら、それらの対策を進めることを検討してはどうか。(会長)

3 (1) 東播磨・北播磨・丹波地域における取組み実績と課題について

3 (2) 計画改定の方向性、スケジュールについて

3 加古川中流域の加東市内や上流側の西脇市等では井堰の撤去工事等を行い、水の流れが良くなったなどの実績があるが、その中間に位置している多井田地区は、事業を行っていないため、実績が無い。令和6年度以降においても、事業予定が特に無く、間に挟まれた地域は今後どうなるのか。上流の西脇市側からは良く流れるようになったが、鬮竜灘の所で水の流れが止まってしまい、土砂が堆積してしまう。築堤をするなどハード的計画が入っていない間、土砂が貯まることや樹木が生える等に対して浚渫するなど対策をしないといけない課題があるため、計画に載せて頂きたい。(加東市県民委員)

⇒景勝地・観光地を守りながら治水の安全度を上げる必要があると思われる。現時点の計画には入っていないが、国は今後検討され、進めていくものと思われる。(事務局)

⇒鬮竜灘の区間については、現在の河川整備計画の流下能力があるため、鬮竜灘下流の河川整備を進めているところ。また、当該区間は景勝地であるため、どのような整備を行うのか、関係者と十分に協議したうえで進めていきたいと考えている。維持管理については、定期的に測量等を行っており、土砂堆積等の状況が確認された場合は、必要に応じて対策をしていきたいと考えている。(姫路河川国道事務所)

4 治水の中で、改修工事が進められて強度の面では良くなっているが、コンクリートで冷たい印象を受ける。高砂市の一部では竜山石を使用した護岸があったりする。地元でも親しめるような景観整備についても少し計画に入れてほしい。(高砂市県民委員)

⇒河川改修をする中で、河川法でも環境の整備が謳われており、環境を大切にしていくというところは考えている。ただ、景観を向上させる整備を行うと予算が必要となり早く安全にするという観点からは離れてしまうということもある。それでも特に景勝地や観光地では、環境にあった整備を行っている。昔はコンクリート間知ブロックばかりを使用していたが、最近は空隙のあるポーラスブロックを使用するなど配慮することを考えている。景観については行政だけで決めるのではなく、地元の方と協議を行って決めていくことを考えている。(事務局)

⇒整備計画策定後に水害があったとき、技術的検討を行って原形復旧対応等を先ずは行うものであると思われるが、その次の整備計画の変更の際に、上記のような意見をもっている流域住民が参加できる会議や仕組みはないのか。(会長)

⇒整備計画を変更する際は、兵庫県では流域懇談会といった学識経験者や地域の住民にも入っていただく協議会を開いて、整備計画を策定している。また、整備については、環境に対する意識改革をおこなっており、河川の流れが緩やかな箇所については、三面張りではなく河床を土にする、河川を蛇行させ、水の流れが早い場所や遅い場所を作るなどの配慮を進めているが、治水工事が先行しており、環境のための整備をしてきていないため、治水のみの印象を強く持たれてしまうことも課題として考えている。(事務局)

4 神戸地方気象台からの情報提供について

- 5 防災情報の精度がかなり上がっていると思われるが、一般の方がそれらの情報を簡単に理解できるようなアプリ等による情報提供は検討しているか。(会長)

⇒防災情報については、「防災気象情報に関する検討会」で有識者からの意見を頂き、改善に取り組んでいるところである。現在、アプリはないものの、気象庁のHPで「キキクル」というものがあり、インターネットを使って見ることになるが、地図上で身の回りの危険度（浸水・洪水・土砂災害）を確認することができる。スマートフォンを使用する場合は自分の位置を中心に表示することが可能であるため、活用していただきたい。（神戸地方気象台）

【まとめ】

推進協議会におけるフォローアップや総合治水の改定の方向性、スケジュール等について、加古川流域圏の関係者が一同に集まって対面で情報交換をすることは大変重要である。気候変動による影響が顕在化するなかで、兵庫県としては「総合治水」によって、さらに国としては「流域治水」の枠組みによって河川流域の治水整備を推進していこうとしている。それらの枠組みをうまく融合して、安心・安全で賑わい・活力のある地域づくり・まちづくりが一層発展することを期待する。(会長)

令和5年度 第1回 東播磨・北播磨・丹波（加古川流域圏）地域総合治水推進協議会出席者名簿

日時：令和6年3月15日（金）14:00～16:00 場所：滝野図書館 3F会議場

【協議会委員】

属性	氏名	所属等	出席	代理人氏名	代理人所属等	
◎学識経験者	ミヤマト 仁志 宮本 仁志	芝浦工業大学工学部教授	出席			
国	イケダ 大介 池田 大介	姫路河川国道事務所長	欠席	キタガキ ヒロフミ 北垣 啓文	姫路河川国道事務所副所長	
	サエキ 亮介 佐伯 亮介	神戸地方気象台長	出席			
県	オオケボ 和代 大久保 和代	神戸県民センター長	欠席	カワズミ 健輔 河邊 健輔	神戸土木事務所企画調整担当 所長補佐【WEB出席】	
	ミヤグチ 美範 宮口 美範	阪神北県民局長	欠席	タケナカ シュウヘイ 竹中 修平	宝塚土木事務所三田業務所 所長補佐	
	ノギタ 浩三 野北 浩三	東播磨県民局長	欠席	オオハタ マサヤ 大畑 雅哉	加古川土木事務所副所長(技術) 【WEB出席】	
	モリト 真一 守本 真一	北播磨県民局長	欠席	フジイ シノブ 藤井 恣	加東土木事務所多可事業所長	
	ウエタ 浩嗣 上田 浩嗣	丹波県民局長	欠席	ハラ トシユキ 畑 敏幸	丹波土木事務所企画調整担当 所長補佐	
流域圏市町	ヒサモト 喜造 久元 喜造	神戸市長	欠席	ワキモト ヒデフ 脇本 英伸	神戸市建設局河川課長 【WEB出席】	
	オカダ 康裕 岡田 康裕	加古川市長	欠席	シノヅチ マサシ 澤淵 真史	加古川市建設部次長	
	カヤマ 象三 片山 象三	西脇市長	欠席	フルカワ マサカズ 古川 雅一	西脇市技監	
	ナカト 一彦 仲田 一彦	三木市長	欠席	トモサダ ヒサシ 友定 久	三木市都市整備部長 【WEB出席】	
	トクラ 達殊 都倉 達殊	高砂市長	欠席	ムカイノズキ 和哉 向 和哉	高砂市治水対策課長	
	ホウライ 務 蓬萊 務	小野市長	欠席	ハマダ シロウ 濱田 士郎	小野市技監	
	タムラ 克也 田村 克也	三田市長	欠席	ホリ ヨシカズ 堀 善和	三田市道路河川課長 【WEB出席】	
	タカハシ 晴彦 高橋 晴彦	加西市長	欠席	アダチ ヤスヒロ 足立 安広	加西市環境部次長兼上下水道課長	
	サカイ 隆明 酒井 隆明	丹波篠山市長	欠席	ナカガワ ケイイチ 中川 敬市	丹波篠山市地域整備課係長	
	ハヤシ 時彦 林 時彦	丹波市長	欠席	オカモト シン 岡本 新	丹波市建設部河川整備課主査 【WEB出席】	
	イワネ 正 岩根 正	加東市長	欠席	ノゾキ サトシ 野崎 敏	加東市技監	
	ヨシダ 一四 吉田 一四	多可町長	欠席	イトウ ジュンヤ 伊藤 淳也	多可町建設課副課長	
	ナカヤマ 哲郎 中山 哲郎	稲美町長	欠席	ミヤザキ ヒデキ 宮崎 英樹	稲美町地域整備部土木課長 【WEB出席】	
	サエキ 謙作 佐伯 謙作	播磨町長	欠席	クサベ ヨシノリ 草部 良倫	播磨町上下水道課係長 【WEB出席】	
	県民	キシモト 仁文 岸本 仁文	神戸市山田枝下自治振興会会長	出席		
		オカモト 立身 岡本 立身	加古川市町内会連合会会長	出席		
フジワラ サトシ 藤原 悟		西脇市連合区長会副会長	出席			
イナバ ヒロシ 稲葉 洋		三木市区長協議会連合会理事	出席			
イシドウ 求 石堂 求		高砂市連合自治会会計	出席			
フジオ 武人 藤尾 武人		小野市連合区長会会長	出席			
フカイ 悦治 福井 悦治		三田市大川瀬区長	出席			
フカダ 哲也 深田 哲也		加西市消防団長	欠席			
ヤマダ 俊朗 山田 俊朗		丹波篠山市自治会長会会長	出席			
ノギタ 克巳 野北 克巳		丹波市自治会長会理事	出席			
ニシヤマ シュウゾウ 西山 修三		加東市多井田地区区長	出席			
フジモト 善久 藤本 善久		多可町区長協議会会長	出席			
ニシザワ カズヒロ 西澤 一弘		稲美町土地改良事業連絡協議会会長	欠席			
ナカジマ 直實 中島 直實		播磨町自治会連合会会長	欠席			

◎：協議会会長

議事録署名人

会長：芝浦工業大学教授

宮本 仁志

北播磨県民局長： 守本 真一